

## 和島地域の活動方針・展開



# 地域の夢

## 和島地域

### 「新市地域らしさ価値」を高めるための和島地域の方針と活動

#### 和島地域は、こんなところ

##### ■和島村の成り立ち

和島村は新潟県のほぼ中央部、日本海側に位置し、周辺をなだらかな丘陵に囲まれ、中央部を島崎川、郷本川が南西から北に貫流し、これを取り巻くように平野が広がり、主要な集落や豊かな水田地帯を形成しています。南東部の丘陵地帯は、県下でも有数の人工林地帯「三島林業地」が形成され、この林業地を縦断する形で三島林道が開設され、中部北陸自然遊歩道にも指定されています。

和島村の歴史は非常に古く、海・山・野の幸に恵まれたこの地域には、旧石器時代、今から1万年以上も前から人が住んでいたと言われており、平成2年に八幡林遺跡から出土した「沼垂城」の木簡は

奈良時代前期のものと判明し、国の要衝の地として栄えた地域との可能性も指摘され、今後の調査に期待がかけられています。

鎌倉時代には、日蓮上人の高弟・日昭上人を開祖として妙法寺が建立され、北越布教の中心となりました。明治44年には当村出身の久須美秀三郎・東馬親子が2代にわたりその私財を投げ打ち、越後鉄道株式会社を設立し、現在のJR越後線の前身、白山・柏崎間の鉄道を開通させました。

##### ■良寛・貞心尼出逢いの地、良寛安住の里

地位や名誉を一切捨て、乞食僧として真の仏法普及を自らの使命とした聖僧良寛が晩年安住の地として和島の木村家に身を寄せ、貞心尼と出逢い、住民との温かい交流の中で人生の彩りを深めた平和の里です。良寛が愛した原風景と人情に出逢える里です。良寛の里美術館をはじめとし、晩年身を寄せた木村家、「良寛

#### 和島地域の方針と活動 (右頁参照)

和島地域において「新市地域らしさ価値」を高めるべく、方向性と、活用したい地域資源(地域の強み)から検討した、将来実現すべき地域の姿(整備・活動方針)と実現のための活動・展開を提示します。

禅師墓」と銅像のある木村家の菩提寺隆泉寺等、良寛ゆかりの名所が多数あります。日本全国はもとより、海外からも良寛を慕い多くの良寛ファンが訪れています。

子供たちには良寛に親しみ、逸話から徳を学び、人を愛する心を培っていただきたいという願いと、明治、大正、昭和、平成と激動の時代を生き抜いてこれ



た高齢者のみなさんからは、人間として尊厳を持った幸せな晩年を送ってもらいたいという願いから教育と福祉の融合さらに新たな教育の創造を目指し、子供達には「人を思いやる心」「お年寄りを敬う心」「人を愛する心」を、また、お年寄りには「生きる喜びの醸成」を機軸とし、それぞれがお互いに享受されるというような相乗効果を期待し、教育と福祉それぞれに生

活する方々が共に育むという精神の醸成を目指しています。

##### ■感動発見、やさしさ体験フィールド

日本海の美しい夕日と緑豊かな自然に出会える贅沢フィールド和島オートキャンプ場、食べてびっくりおいしいお米と新鮮野菜、情熱とやさしい自然が創り出す和島ブランドのお酒、古代のロマンが花咲く遺跡の宝庫、素朴な人柄同士が縁結び、タヒチとの国際交流、一期一会の出逢いの中で終生忘れることのできない感動とやさしさを発見できる和島です。



## 1 整備・活動方針と活動展開

—新市全体ありたい姿— WANT

和島地域において

### 独創企業が生まれ育つ都市

～誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか～

を高める方向性

- ・住民の活動を活かし、独創力や企業力を高める人間教育を行っていく
- ・新たなことにチャレンジする住民の人間力が生み出す地域活動を、ビジネスモデル開発に展開する

—実現すべき和島の姿— WILL

#### ■和島地域整備・活動方針

### 独創精神を支える 人間力養成モデル地域

- ・組織をつくってから進めるのではなく、地域で育まれた個人の資質や技術のネットワークを活かし、多少のことではゆるがない柔軟かつ強固な組織形成のモデル地域を目指す

実現していくための活動・展開

#### 見極める

- 地域で生まれた技・住民活動を発掘し、ビジネスモデル構築を模索する

#### 発信する

- 和島特有の独創を生み出す活動のPR 展開・発信

#### 育てる

- NPO・個人起業家・ボランティア等の連携強化
- 総合学習や地域活動などを通じた「独創・起業」の心を育てる活動

—活用したい地域資源— CAN

#### 資源の強み・内容

##### 道の駅でのチャレンジ

- 地元で生まれ育つNPO法人の活動
  - ・道の駅を拠点に村の情熱人がNPOを設立し地域づくり活動を展開している

##### 安らぎを与える環境と人情

- 良寛終えんの地
  - ・良寛がもっとも輝き、人生の彩りを深めた晩年の良寛ゆかりの名所や良寛が愛し癒された原風景に接することができる

##### 菊盛美術館寄贈

- ・新潟県出身の故菊盛嘉雄氏は、和島の人々とそれを培ってきた歴史と風土に接し、心を大切にしてくれる地域であるとして、生涯をかけて蒐集した彫刻絵画とそれを展示する美術館を村に寄贈

##### ものづくり集団の芽生え

- 若手木工芸・竹工芸職人の技
  - ・手作りと本物にこだわる家具作家やアマチュア作家が育ってきている。竹を素材とした作品づくりも行われている

##### 食品加工（漬物など）へのチャレンジ

- ・個々の農家や事業所において漬物づくりや食品加工が盛んになってきている

##### 若手酪農家の取組

- ・酪農家が仲間を組合をつくり、生産から加工・販売まで手がけ、世界的にも珍しい乳牛製品づくりに取組んでいる

##### 手作り民芸品創作活動

- ・道の駅を中心にした活動の中から民芸品づくりを行う個人やグループが育ってきている



## 2 整備・活動方針と活動展開

—新市全体のありたい姿— WANT

和島地域において

### 元気に満ちた米産地

～まごころ米の生まれる里・新ながおか～

を高める方向性

- ・人・生活・風土を育んできた歴史風景としての田園と、経済としての農林業の両立
- ・農林業を営む心のあり方を新ながおかにアピールしていく

—実現すべき和島の姿— WILL

#### ■和島地域整備・活動方針

### 人間力と相互信頼が創り出す 自然体農林業生産地域

- ・自分たちが楽しみながら作り、食べ、人と人のつながりで産物を提供する活動を継続していく

実現していくための活動・展開

#### 見極める

- 大区画ほ場・中山間地活用による適地適作集落営農システムづくり
- 住民による徹底した地場産物提供基地づくり

#### 発信する

- 体験交流イベントによる和島のこだわり食品・食材の魅力発信

#### 育てる

- 地場産物直売戦略をつなげる市民活動団体・参画農家の育成

—活用したい地域資源— CAN

#### 資源の強み・内容

##### 味が自慢のわしまの米

- 自然に恵まれた優良農地
  - ・蜜が飛び交うような平地や里山の自然環境の中で和島の米は作られている

##### こだわりの農産物

- 集落で考える農業システムづくり
  - ・村内を4地区に分け、地区ごとにその地域にあった集落営農のあり方を検討してきている
- 地域固有の食材づくり
  - ・地域固有の味を持った味噌づくりや漬物づくりが行われている

##### 伝統産業としての酒づくり

- まぼろしの酒米復活とコシヒカリ米の酒づくり
  - ・二軒の酒屋がそれぞれに素材の米づくりから製品開発まで生産者と一体となり独自の酒づくりに取組んでいる

##### 販売交流活動

- 道の駅「地域交流センター（もてなし家）」、いきいき市場
  - ・地産地消と生産者の顔の見える農産物直売事業が盛んになってきている
- 自然薯栽培組合の取組み
  - ・村の特産品開発事業で生まれた自然薯が消費者に好評。和島の特産品としての認知度が高まってきた

##### 受け継がれる林業活動

- 県内有数の人工林地帯「三島林業地」
  - ・森林組合や個人林業家を中心として地域ぐるみで取り組み、代々受け継がれてきたスギの人工林地帯